

乾議員

観光を視野に入れた農業振興について

問奥越地域地場産業振興センターが解散することとなり、今後の課題は建物の有効活用となる。そこで建物を、当市が進展するグローバル経済社会を力強く生き抜くため、安全・安心・新鮮で安い魅力的な米・野菜・果実等の美味しい素材を活かし、訪れる多くの観光客に食事やお土産を提供する農業振興を中心とした、新しい6次産業創出に繋がる技術開発や研究、また特に重要な販売網を構築していく拠点としてはどうか。

答観光を視野に入れた農業振興施策として「かつやま逸品開発・販路開拓事業」の実施、「かつやま地のもん推進店」の認定を行っている。このような制度は、生産者と加工技術を結びつけた6次産業の促進の一つであり、効果的であるため継続していく考えである。産官学連携のもと研究、技術開発を進める戦略的な中枢の場や販売網の開拓拠点については、その延長線上にあるものであり、当面は生産者と加工流通業者とのマッチングなどを関係課により調査研究してまいりたいと考えている。

その他の質問
・生物の特定外来種の駆除と啓発について
・なぜ急ぐ、中学校の統廃合について

流雪溝の蓋（グレーチング）の軽量化について

問高齢化が進み、除雪しようにも流雪溝の蓋が大きくて重く、とても開けられないとの苦情が多くなっている。そのため流雪溝の蓋に、持ち手をつける、両開きにする、全体の軽量化などがあるが、早急に改善してはどうか。

答グレーチングの軽量化については、技術や安全面についてメーカーと検討を行う必要がある、また持ち手については、通行車両による振動で騒音の苦情が多く、現在はほとんど付けていない状況である。個人的に鉄板等に入れ替えている事例もあるが、道路管理上支障となる場合もあり、指導が必要。今後、これらを含め、実態をお聞きする中、課題の整理を進めたい。



グレーチング

山内議員

農林業の振興施策について

問農林業は、所得の減少、担い手不足の深刻化や高齢化の進展といった厳しい状況に直面し、食を担う農林業の再生は待ったなしの状況にあるが、そのための農林業振興について伺う。

①「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」の中に、地域の中心となる経営体への農地集積や、将来の農業を支える人材確保を進める「人・農地プラン」があるが、勝山市はどのように策定していくのか。
②どのように森林整備を進めていくのか。

答①人・農地プランは、集落・地域の農業をいかに持続発展させていくかについての重要な設計図となるため、積極的に取り組みたいと考えている。具体的スケジュールは、農家組合長などを対象に、8月に説明会を開催したところで、今後、検討会及び認定を予定している。
②林業の機械化や効率化を進めるため、九頭竜森林組合等と協力し、区域ごとに作業道の設置や間伐などを行うコミュニティ林業を推進し森林整備を進めていきたい。

奨学資金について

問勝山市では、独自の奨学金制度「勝山市育英資金」を設置し、勝山市の将来を担う人材を育成するため、その運用をしているが、その制度について伺う。

①貸与額を増額することはできないか。
②「勝山市育英資金」を活用した方が、勝山に就職した場合、返還額を軽減することはできないのか。

答①貸与額が授業料に届いていないため、貸与額の増額については検討したい。
②「勝山市育英資金」は基金で運用しており、奨学金として貸与した額が確実に返還されなければ、その運用ができなくなるため、現在の枠組みの中で返還額の軽減策を行うことは困難。ただ若者のUターンを促す観点からの施策として検討する必要がある。とは必要と考える。



はさがけ